第３回　西新宿地区再整備方針検討委員会

１．日時・場所

令和４年１月２４日（月）　１５：００～１７：００

オンライン開催

２．出席者

別紙　出席者名簿のとおり

３．議題

・報告

（１）西新宿懇談会からの主な意見

・議事

（１）西新宿地区再整備方針検討委員会設置要綱の改定について

（２）第２回委員会の主な意見と対応

（３）西新宿地区の再整備方針案（令和３年度のまとめ）

（４）今後の進め方

４．配布資料

次第

［資料１］西新宿地区再整備方針検討委員会　設置要綱　改定

［資料２］第２回西新宿地区再整備方針検討委員会の主な意見と対応

［資料３］西新宿地区の再整備方針案（令和３年度のまとめ）

［資料４］今後の進め方

［参考１］西新宿懇談会からの主な意見

５．議事録

■議事録

＜報　告＞

（１）西新宿懇談会からの主な意見

（事務局より資料説明（参考１））

＜議　事＞

（１）西新宿地区再整備方針検討委員会設置要綱の改定について

（事務局より資料説明（資料１））

（２）第２回委員会の主な意見と対応

（事務局より資料説明（資料２））

（３）西新宿地区の再整備方針案（令和３年度のまとめ）

（事務局より資料説明（資料３））

（４）今後の進め方

（事務局より資料説明（資料４））

〔岸井会長〕

○ 方針策定は来年度末となるとのことであるが、「資料３、２２P：将来像に向けた再整備方針案」等で記載のある方針の骨格の肉付けを行っていく上で今後深度化させるべき事柄を議論していきたい。

〔小嶋委員〕

○ 「参考１：西新宿懇談会からの主な意見」にて、西新宿固有の文化や歴史に触れ・回遊することができるまちの創出が望まれているとの記載があったが、そのような地域回遊を促すサイン計画が重要になってくるのではないか。どの方針に入れ込むのが適切かもぜひ検討頂きたい。目的地間を効率よく移動するためのルートに加え、記載にもあった地域資源に触れ回遊性を高めるネットワークの構築が必要であると考える。

〔事務局〕

○ ご指摘の点について承知した。現状の歩行者ネットワーク・サイン計画の把握も含め情報を整理し、次回以降の委員会にて方針をお示しする。

〔池邉委員〕

○ 今回を含め計３回委員会を実施されてきたが、「資料３、２２P：将来像に向けた再整備方針案」等で記載されている内容は抽象的であり、委員会を実施せずとも記載できる表現に留まっている状況である。現状に対する再整備方針案が教科書的すぎるように感じる。

○ 西新宿地区の価値が低下し、来街者が少なくなっている状況に対し、どのようにリメイクし、地域回遊を向上させるべきか、より具体的に検討すべきである。

○ 検討にあたってはターゲットの想定が重要となる。バスタ新宿を経由して甲州街道沿いの宿泊施設等を利用しているインバウンドの外国人等をいかにして西新宿超高層に誘うのか具体的に議論すべきである。現状、西口の家電量販店は来街者の目的地として機能しているが、その他には来街者などは行き来していない印象である。来街者は通常、地下ではなく地上部を歩くと思われるが、都庁や新宿中央公園などの目的地に誘われ、通りを歩きたいという気持ちを高めるようなホスピタリティの高い道路が存在しないことが課題である。現状の道路空間における中央分離帯の植栽にも魅力は少なく、また議事堂通りについても、議事堂の周辺として格調の高い設えとなっていないことも課題である。

○ 新宿駅周辺について、今後駅西口の再開発が進行し、西新宿超高層街の来街者が相対的に減少することが見込まれる状況において、現状の方針案ではそこに対する危機感が感じられない。新宿駅西口の再開発では「スカイコリドー」と呼ばれる空中広場が整備されるようであるが、例えばその場所から新宿中央公園へ誘うような道路を整備することが望ましいのではないか。大阪の「うめきた」では「ひらめきの道」と呼ばれるデッキ上の歩行者通路の整備が計画されているが、西新宿においても４号街路上に新宿駅と新宿中央公園を結ぶデッキを整備することも考えられる。

○ オープンスペースの再編・利活用について、現状は他地区でも見られるキッチンカー等を設置することを想定しているようであるが、そこに留まらず、新たなオープンスペースの在り方を示す必要があるのではないか。現状の案では集客力の大幅な回復は見込めないものと考える。

○ また新宿中央公園については既に再整備が実施されており、芝生広場や「SHUKNOVA」などが新たに整備されているが、その様子が周囲から視認できず、集客のきっかけとなっていないことも課題である。

〔事務局〕

○ ご指摘の点について承知した。改めて課題を含めた現状の分析を行い、次回以降の委員会にて方針をお示しする。

〔伊藤副会長〕

○ 「資料３、２１P：西新宿地区の将来像と再整備のイメージ」で示されている断面図を確認することで、４号街路を再編する上でのスケール感のイメージができてきた。今後検討を具体化するにあたり、かつてル・コルビュジエが示した超高層のオープンスペースそのままではなく、現代・未来の都市に求められる新しいオープンスペースの在り方・活用方針を議論する必要があると感じる。

○ また、同資料でも「平日・昼」「平日・夜」「休日」とシーンに応じたパターンを検討しているが、「平日・昼」については既に存在している建物内のワーカーをいかに屋外空間に誘うか、「平日・夕」「休日」については、人々の目的地となるようなコンテンツの創出が重要になるのではないか。

○ 現状の再整備方針案には記載されていないが、今後まちづくりを進めていく上でのプロセスの検討や、まちづくりが進んでいく様を人々に公開する情報発信の場・機会を設けることが重要であると考える。世界的な動向として、再開発が行われる際には人々にその情報を発信する再開発情報センターのようなものを開設することが多くなっているが、日本国内ではそのような取り組みは少ない。

○ 「資料３、１３P：東京都庁舎、都民広場」について、欧米諸国の庁舎に見られるシティーホールを参照とし都庁舎・都民広場が設計されたとのことであるが、現状の広場は人々が自然と集い、生活・文化等の様々な活動を誘発する場としては機能していないように感じる。西新宿の将来像を提示する上では、都庁・都民広場の在り方について示す必要があるのではないか。

〔事務局〕

○ ご指摘の点について承知した。頂いた内容を踏まえ検討の深度化を図り、次回以降の委員会にて方針をお示しする。

〔吉村委員〕

○ 伊藤副会長が発言された内容と関連して、「資料３、２３P：方針①　多様なワーカーが交流・挑戦し、新たなビジネスやイノベーションを創出」の下段に掲載されている写真のようなイメージで、人々に対しまちの未来を視覚的に伝える情報発信の場を設けることが重要である。

○ 専門家のみで議論するのではなく、一般の人々に対しまちづくりのビジョン・過程をなるべく早い段階から共有していくことが重要であり、結果としてシビックプライド・街への愛着を高めることにつながるのではないか。

〔事務局〕

○ ご指摘の点について承知した。頂いた内容を踏まえ検討の深度化を図り、次回以降の委員会にて方針をお示しする。

〔国土交通省　都市局　街路交通施設課　街路事業調整官〕

○ 「資料３、２１P：西新宿地区の将来像と再整備のイメージ」について、法令等に基づく検証は未実施とのことであるが、現行の法令で実現の可否を判断し規模を縮小してしまうのではなく、実現する上での法令・制度上の課題・方策を長期的に整理・議論していくことが望ましい。

〔一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事〕

○ 再整備方針の策定、その実現に向けて段階的に進めていくことが重要であると認識している。第一に、道路空間の維持管理に関しては、道路管理者と協議を重ねながらエリアマネジメント組織として何ができるのか運用スキームを検討していきたい。第二に、民間敷地のあり方に関しては、公共的空間を活用・再整備する上で障害となる制度上の課題の整理及び制度の改変含めた西新宿特有のルール等の検討を行っていきたい。

○ 今回の資料では、４号街路中心のイメージが示されているが、西新宿地区全体でみると５号街路や３号街路もある。それら各街路の性格付け、新宿駅との接続のあり方等についても具体的に検討していきたい。

〔岸井会長〕

○ 今後の検討の具体化については、民間側からも再整備にあたっての空間像や実現に向けたプロセス上の課題等について積極的に提案してほしい。

〔警視庁　交通部　交通規制課　都市交通管理室長〕

○ 現在の資料では道路における交通機能に関する検証が不十分であり、今後検討の深度化を図っていく必要があると感じる。賑わいの創出にあたっては、交通機能としての安全性・ユニバーサルデザインなどの観点からも検討を重ねることが必要である。

〔東京都　デジタルサービス局　ネットワーク整備担当部長〕

○ 西新宿地区においては様々な取り組みを実施しているが、その中でもスマートポールを設置することで、５G 等を活用し平常時・災害時などの交流・情報発信機能の強化を図っている。４号街路を中心に設置数を増やしている段階であるが、今後は行政内での検討に留まらず、民間とも協力しながら、今後の都市サービスに必要な要素を議論する必要がある。

〔新宿区　都市計画部　新宿駅周辺整備担当部長〕

○ これまで西新宿懇談会と意見交換を実施しながら検討を進めてきているが、今後、策定する再整備方針の内容については文章表現も含め、一般の人々にわかりやすい表現となっているか、抽象的な表現やカタカタ言葉などの使い方には心がけていきたい。

○ また地区周辺には熊野神社・思い出横丁などの地域資源が点在している。再整備にあたってもそのような地域固有の場所を最大限活用し、地域全体の価値を高めていきたい。

〔東京都　建設局　道路保全担当部長〕

○ 道路空間の再編を今後検討するにあたり、内容に応じて実現の難易度は異なるが、今回の資料上の断面イメージのように具体的な整備案をもって議論を重ねていきたい。

○ 将来の管理体制については、地域内の権利者・団体との連携など将来の担い手も視野にいれ、具体的な検討を重ねていきたい。

〔東京都　交通局　バス事業経営改善担当部長〕

○ 現状新宿エリアにおいては新宿ＷＥバスが巡回しており、丸の内やお台場などでも同様の取り組みが実施されている。こういったところのノウハウをうまく取り込んで、地域内の回遊性向上に寄与する交通体系を検討することで、地域内循環としてバスが活用できるのではないかと考えている。

〔池邉委員〕

○ 新宿・渋谷・池袋はそれぞれ大規模ターミナルとして比較されるが、地域としての特徴付けを明確にし、都市間競争力を高めることが重要である。西新宿の街が形成された頃は、超高層・中央公園・立体道路等が大きな特徴として認識され、多くの来街者が存在していたが、現状の西新宿はまちのコンセプトがなく、渋谷・池袋と比較し、競争力が低下している印象である。まちのターゲットについて、渋谷については若者中心、池袋については多様な世代のファミリー層が想起されるが、新宿におけるターゲットを再度見直す必要がある。当初はワーカーが中心であったが、現在は青海街道・甲州街道沿いの専門学校や塾に通う若者・ホテル等を訪れる旅行客・新宿中央公園周辺に住む居住者等、様々な層の人々が西新宿周辺に存在している。またビジネス機能を強化するにあたっても、駅周辺・他都市で新しいオフィスが整備される中、超高層街に呼び込む企業像についても具体的に議論する必要がある。西新宿としての戦略を明確にしていただきたい。

〔事務局〕

○　再整備方針について、やや抽象的な表現となっていることについては、本日頂いたご意見をもとに改めて検討させて頂き、今後具体化させていきたい。今後ともご協力をお願いしたい。

〔岸井会長〕

○　本日のご意見はいずれも新宿のことを大変心配していらっしゃってのご意見であったように思う。都民・市民が参画できるシステムの構築については、エリア内に都庁を抱えることからも積極的に取り組めると良い。具体に西新宿エリア内で何ができそうかについては、道路の役割分担などが一定程度明確になっていることからも、制度面に関する関係各所のサポート、また、他地域のエリアの変化も読み込み、連携しながら検討を進めること。

以　上

別紙

第３回　西新宿地区再整備方針検討委員会　出席者名簿

職	所属・役職等	備考
会長	日本大学 理工学部土木工学科 特任教授 岸井隆幸	
副会長	東京理科大学 理工学部建築学科 教授 伊藤香織	
委員	埼玉大学 理工学研究科 環境科学・社会基盤部門 准教授 小嶋文	
〃	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授 池邊このみ	
〃	東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授 吉村有司	
〃	東京都 都市整備局 先端技術調整担当部長	
〃	東京都 都市整備局 都市づくり政策部長	
〃	東京都 都市整備局 都市基盤部長	
〃	東京都 都市整備局 交通政策担当部長	
〃	東京都 建設局 企画担当部長	
〃	東京都 デジタルサービス局 ネットワーク整備担当部長	
〃	新宿区 みどり土木部長	代理
〃	新宿区 都市計画部 新宿駅周辺整備担当部長	
〃	一般社団法人 新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事	
オブザーバー	国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室長	欠席
〃	国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路事業調整官	
〃	警視庁 交通部 交通規制課 都市交通管理室長	
〃	東京都 建設局 道路管理部長	
〃	東京都 建設局 道路保全担当部長	
〃	東京都 交通局 バス事業経営改善担当部長	
（事務局）	東京都 都市整備局 都市づくり政策部 開発企画課 東京都 都市整備局 都市基盤部 街路計画課 新宿区 新宿駅周辺整備担当部 新宿駅周辺基盤整備担当課 新宿区 新宿駅周辺整備担当部 新宿駅周辺まちづくり担当課	